

保護者のみなさまへ

令和5年度 施設関係者評価の保護者アンケートのご協力ありがとうございました。12月12日(火)に保育関係者をお招きして当園の保育環境などについてご覧いただきました。その評価が出たため市に報告すると同時に保護者アンケートについても、結果をまとめましたので、ご一読下さい。

ご意見の内容を要約するとニュアンスにずれが生じますのでご意見は、そのまま載せました。ただ似たようなご意見は、番号で示してお答えしています。

○(1・2・4・10・14)行事のご意見についての回答

・社協園の行事の考え方

①発達に合った行事参加でありたい～そもそも0.1.2歳児に集団行動をとらせることはその発達に合わないと思われ、研修などで遅まきながら知りました。かけっこ1つでも数人並べて練習するのが保育士です。そのスタートの場所まで行くのに小さな子ども達に負担をかけます。行くのが嫌な子もいます。ゆっくりしたい子もいます。歩く子、ハイハイの子など身体的な発達にはかなりの差があります。大人は、それを無視して連れていくのです。数年前までそうでしたから。お遊戯会で服を着せて舞台に座らせる。それだけでかわいいですね。それに満足していた私達がいたことも事実です。ひとりひとりの遊びやしたいことに合わせると0.1.2歳児の行事は無理があったと思います。そのような理由から社協園では、0.1歳児さんの行事参加は有りません。しかし、2歳児(さくら組)さんは発表会もワクワクフェスティバルも希望者のみとしています。この場合事前の練習はありません。

縦割りクラスの3.4.5歳児さんは、練習をしなくても当日できる遊びや活動を演目としています。

②ゆったりとした日常を壊さない行事でありたい～これまでの行事は、あまりにも日頃から逸脱していました。ひとつできるとまだできると子どもに期待して見栄えを良くしていく傾向にあり、きりがなかったのです。保護者の要望や目を気にすることも大いにありました。しかし、子ども達の日頃の遊びや活動を大事にして毎日の延長に行事を持ってくると無理が最小限になります。5歳児(すみれ組)であっても練習を重ねるとプレッシャーになって登園を渋る子どももいました。園行事を変えてから登園を拒否した子どもはほとんど見られません。

③子ども達にも職員にも無理をさせたくない行事でありたい～上記の①②に説明の通り子ども達には無理をさせたくありません。毎日を自分のしたいことに費やして欲しいからです。

そして、職員も行事やその準備に傾倒させたくありません。見栄えを気にし、大人の手を加えようとしています。事実、本年度の発表会や卒園式もそうでした。『もう練習は要らない』と提言してもやろうとしていました。発表会の準備(小道具)も更に作ろうとしていました。今のようないい内容でも更に上をとってしまうのが、保育士です。地味で派手さはありませんがこれが子ども主体の発表会だと自負しています。子ども達が考えたもの作ったもの発表したいもので良いと思います。それが一番その子らしさが出ていると思います。

④保護者のみなさまのご理解を

今回アンケートをとり行事に対する要望が多かったことを真摯に受け止めています。新規入園のところには、行事の考え方やその参加について見学の時に説明しそれを踏まえたうえで、入園を決めてもらっています。

上の兄弟から園の行事を見てこられたところは違和感をもたれていると思います。保育を大きく転換すると同時に保育士の負担をかなり要していた行事にも手を入れてきました。今保育界では、保育士が不足しています。

資格があるのに、一度やめると保育の世界に返りづらい思いが根強い現状です。現役の時の働き方に起因するのは、①多すぎる記録や計画の作成と②多すぎる行事とその準備や練習などにかかる負担がその主な理由です。これらの負担を軽くすることが、保育士が保育士として子どもと関わることに専念できる一歩だと思います。社協が運営する保育園やこども園の園長は、こども達にも保育士としての自分自身も行事における負担と理不尽を経験してきました。今なお、不適切な保育やこどもとの関りの問題行動の報道が後を絶ちません。保育士の行事へのプレッシャーは保護者の目ばかりではなく、同僚や上司からもあります。前年との比較もそうです。

そのような私達の経験から行事を大きく変えてきました。当園の行事について、ご不満やご納得できない思いも有られるでしょうが、ご理解を頂けないでしょうか？

○(3)コドモンの導入についてのご意見の回答

・令和3年度までは、旧サクラシステムで登降園管理(出欠)しか使える内容が無く、便りなどはキッズリーとプリントで対応していました。この不具合を統一できたのが現在使用しているコドモンです。

コドモンで使用しているのは、登降園管理(出欠)、カレンダー、一斉送信のおしらせ、便りなどの添付、個人の保育利用請求などです。

ご要望の成長記録とストアー(写真販売)は、使っておりません。

成長記録は、こどもの身長体重の記録のアプリです。この身長体重の記録は、右記の個人のカードで管理しています。内科健診結果後に一度各家庭にお返ししましたがその後の記録はとってあります。3.4.5歳児(ひまわり、ゆり、すみれ組)さんは、生活ノートが無いため保護者が常時見ることができませんので、体位測定をした度にお見せできるようにしていきます。卒園時にこの記録をお渡します。なお、0.1.2歳児(ばら、たんぼぼ、さくら)さんは、生活ファイルにとじてありますので、常時ご覧になれます。

令和3年度 成長記録の記録		氏名	
年齢	性別	氏名	性別
年齢	性別	氏名	性別
年齢	性別	氏名	性別

○(6・7)写真のご意見について

・上記のコドモン導入で説明しましたが、本年度は、配信の統一化を図ったためキッズリーは使用していません。昨年までは、キッズリーで、特定の個人にフォーカスを合わせずその日の遊びや活動を配信することができていました。保護者のみなさまはこれにより園の様子が垣間見ることができていたことは、承知しています。園としては金額的にも管理や配信の頻度などの問題からもコドモンの利用をしないこととしました。キッズリーの最大の欠点は、映像の配信(10枚位)は、そのアップロードにかなりの時間を要し、この間、パソコンが使えない問題も多々ありました。本年度からコドモンで一本化を図った次第です。

この日常が垣間見えるツールとしてインスタグラムを本年度から投稿しております。毎日の投稿はできませんが、ご覧くださると有難いです(インスタグラムでは顔を写さないような配慮がしてあります)

コドモンからも写真販売や映像を利用することはできます。しかし園で撮った映像なのにコドモンのアプリを使うことから保護者の金額的な負担がこれまでの3倍以上の金額でした。このようなことから、現在写真は、『Google photo』で全ての映像を管理し、AIが顔を振り分けて個人のフォルダーに入れ、保護者が取っただけのことになっています。映像は、スマホのアルバムに保管されるようにお願いします(Googlephoto 利用は園が全額負担しています)

以上のことからご意見にある写真販売や映像のデータをお渡しすることはありません。ご了承願います。

また、配布する枚数は、アルバムを作っていた時と同じ、季節ごとに4~6枚程度です。

写真販売やアルバム制作、そして現在ではデジタルの映像の管理と配布が職員の負担になっています。本来このような作業は、保育以外のサービスであり、子どもに関わる保育士の仕事ではありません。デジタル化の現代は枚数が増え、より分けに時間と手間をとります。幸い当園は、『Google photo』を使用することでこのような問題を減らすことができました。しかし、担任アップ前に各子どもの枚数や映り具合、などを確認します。また、『Google photo』に振り分けられた映像の確認や AI が認証できないものは、手動で作業をしています。写真配布に関わる職員の手間と時間を要することをご理解下さい。また、お迎えの際など写真を撮られても構いません。(他の子どもさんが写らない配慮をお願いします)

○(8)感染症の公表のご意見について

・これまで感染症が出た場合、どのクラスからの発生があったのかを伝えたことにより個人が特定され、過去につらい思いをされた方がいらっしゃいました。どなたも始めのひとりにはなりたくないと思います。コロナ禍においても発生のクラスを公表しないことは、その人権やプライバシーを守るためにも現場には、厳重に注意と指導がなされてきました。

このような理由から発生がひとりの場合には公表することはできません。ご了承下さい。ただ感染が増えた(3人以上)場合には、発生クラスをお知らせします。『3.4.5 歳以上児クラスで発生』とお知らせする場合があります。職員が複数人の場合にはお知らせします。

○(9)以上児(縦割り)クラスの職員が不在なことがあるご意見について

以上児クラス(ぱんだ、ぞう、きりん)は、担任が1名で配置されています。その担任を補助する職員が1名から2名配置しています。確かに排泄などの援助でその場を離れることも有ると思います。そのような時は、応援に来てもらうことになっています。そのことを再度周知して、クラスに職員が不在とならないように連携の強化を図ります。

○(11)書類の申請、提出のご意見について

保育課に提出する書類は、保護者のいろいろなケースで違います。特に近年は、1号、2号、3号に分かれまた、1号には新2号と言う分類も複雑化しているのも事実です。その中で仕事をやめられた、変わった、仕事の契約期間が迫っていると書類の提出を保育課が求めてきます。園はその時々保育課に連絡をして提出の書類を聞いています。そこで間違いが起こるのも確かです。

お仕事を辞めた、変わったまたは住所が変わるなども保護者は保育課には、連絡しないといけない事項ですので、直接保育課へ連絡してくださると間違いが減るのではと思います。書類は園にありますので、そのような場合にはおっしゃってください。

○(12)保護者と園の信頼関係が構築されにくいご意見について

このご意見後、毎月発行している写真の『谷頭こども園たより』は、コドモンで月初めにアップしています。朝、職員が近くにおらず連絡が難しかったことやケガなどのことを職員からではなく、こども達から聞くことがあったことは、おっしゃる通り信頼関係が築きにくい案件です。怪我やこども同士のトラブルなどは、確実に伝えるように再度周知して連絡ミスの内容に確認します。朝、園庭で受け入れをしている時は、1人は、ベランダ側の見守りになっていきますのでお声かけをお願いします。また、ご意見の通り1人は、連絡を受け取る(電話も含めて)係として待機するように再度確認します。

○(13)『本物の文化』を知る機会を作って欲しいご意見について

コロナ禍が落ち着き、出かけることが多くなりました。公共交通機関(路線バスや列車)や園でチャーターしたバスで社会見学も本格的にできるようになりました。社協園は、遠足ではなく『社会見学』と位置付けて経験したことが遊びに繋がるようにしています。対外的に出かけるのは主に、4.5歳児(ゆり、すみれ組)が対象になります。本年度も地域の方が主催される音楽会を希望したのですが、ボランティアでなさっているため平日の開催が難しいとのお返事でした。来年度は、スケジュールの調整などをお願いして音楽会などを計画していきます。園でお招きする場合には、0.1.2歳児(ばら、たんぽぽ、さくら組)も参加できる内容にしていく予定です。

○(16)『こども達の育ちのためにもっとできることがあるのでは』のご意見について

園舎建て替えにおいては、長い間ご迷惑をおかけしました。新園舎も完成し、これからは園庭が整備されていきます。凸凹のある冒険的な園庭を目指しています。社協3園は、素朴な遊びや子ども達が試してみたい、挑戦したいことを第一に子ども達の思いに寄り添う教育・保育を目指してきます。

その主となるのが子ども主体の考え方です。

0.1.2歳児(ばら、たんぽぽ、さくら)においては、育児担当制による丁寧な関りで愛着関係を深めていきます。3.4.5歳児(ひまわり、ゆり、すみれ)は、**こども達が選択できる環境の中、挑戦や探求心が満たせる教育・保育を目指します。**

最後に…

保育に関して、お褒めの言葉もたくさん頂戴しています。ありがとうございます。ここでは、ご意見についてお答えしました。

言葉足らずなことがあると思います。お聞きになりたいところは遠慮なく金丸にお尋ねください。

改めてアンケートやご意見などのご協力に感謝申し上げます。

この結果を踏まえ、保護者のみなさまからのご意見などを真摯に受け止め職員一同、その改善などに向かっていきたいと思っております。ありがとうございました。

谷頭こども園 園長 金丸恵美子